

○重点研究課題(H27終了)の事後評価

課題名	代表 研究 本部	研究 期間	研究評価委員会の評価結果				総合評価	
			内容	目 標	活 用	意見	評価	意見
採草地における植生改善技術の体系化	農業	H25-27	b	b	b	作成したマニュアルを活用し、 成果の普及を進めるべき	B	作成したマニュアルを活用し、 成果の普及を進めること
飼料自給率向上を目指した牧草・とうもろ こしサイレージ給与による牛肉生産の実証	農業	H25-27	b	b	b	成果の積極的な普及を図るべ き	B	成果の積極的な普及を図るこ と
海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる 林帯整備・管理方法の開発	森林	H25-27	b	b	b	海岸防災林の価値を他の施策 と組み合わせ探索すべき	B	海岸防災林の価値を他の施策 と組み合わせ探索すること
低コスト地中採熱システム及び温泉排湯 等の熱回収システムの開発	産業 技術	H25-27	b	b	b	展開対象を明確にして成果の 普及を図るべき	B	展開対象を明確にして成果の 普及を図ること
食品混入異物検出および品質評価のた めの分光イメージングセンサの開発	産業 技術	H25-27	b	b	b	実証試験を実施し、製品化を進 めるべき	B	実証試験を実施し、製品化を 進めること(追跡調査対象課 題)

○重点研究課題(継続課題)の中間評価

課題名	代表 研究 本部	研究 期間	研究評価委員会の評価結果				総合評価	
			進 捗	目 標	活 用	意見	評価	意見
土壌凍結深制御技術を応用した畑地の理 化学性改善による生産性向上	農業	H27-29	b	b	b	土壌凍結深の予測に係る積雪 深の期間変動などについて検 討を行うべき	B	土壌凍結深の予測に係る積雪 深の期間変動などについて検 討を行うこと
樹木内部欠陥を非破壊測定する装置の 開発	森林	H27-29	b	b	b	原理の理解・説明を行い、工業 試験場との連携をしっかりと行 うべき	B	原理の理解・説明を行い、工業 試験場との連携をしっかりと行 うこと
カラマツ中大径材木による心持ち平角材 の利用拡大技術の開発	森林	H27-29	b	b	b	需要側からの要望を反映させ る加工技術の開発を行うべき	B	需要側からの要望を反映させ る加工技術の開発を行うこと
道産カンパ類の高付加価値化用途への 技術開発	森林	H27-29	b	b	b	マイルストーンおよび開発要素 を明確にして進めるべき	B	マイルストーンおよび開発要素 を明確にして進めること
じゃがいも自動芽取り・傷み除去システ ムの開発	産業 技術	H27-29	b	b	b	広く道内の加工工場への普及 を見据えて研究を進めるべき	B	広く道内の加工工場への普及 を見据えて研究を進めること
積雪寒冷地におけるコンクリート劣化の分 析評価技術の開発	産業 技術	H27-29	b	b	b	将来の技術の利活用を見据 え、利用者のニーズを踏まえた 開発を実施するべき	B	将来の技術の利活用を見据 え、利用者のニーズを踏まえた 開発を実施すること
魚貝類の加工・保存に伴う「におい」発生 要因の解明と抑制技術の開発	産業 技術	H27-29	b	b	b	「におい」抑制技術の目標を明 確にして抑制技術の開発を進 めるべき	B	「におい」抑制技術の目標を明 確にして抑制技術の開発を進 めること
日本海沿岸域における過去最大級津波 の復元:13世紀津波と1741年渡島大島山 体崩壊の津波による浸水実態の解明	環境 ・ 地質	H27-29	b	b	b	政策決定への活用プロセスを 意識して研究を進めるべき	B	政策決定への活用プロセスを 意識して研究を進めること

注)研究評価委員会の評価結果の項目  
【中間評価】 進捗:研究の進捗状況  
【事後評価】 内容:研究内容の妥当性

目標:研究目標の達成見込み 活用:成果の活用の可能性  
目標:研究目標の達成度 活用:成果の活用の可能性